

特集「砂防・治山における実験」に関する原稿募集について

砂防学会誌 編集委員会

砂防学会誌編集委員会では、年度の最終号で特定のテーマに関する最新の研究成果をまとめて掲載する「特集号」を企画しています。これまで過去7回の特集号では皆様から多くのご投稿を頂き、大変ありがとうございました。

第8回の特集テーマは「砂防・治山における実験」です。古くから砂防・治山分野においては、水理模型実験（水路・地形模型）、現地実験（人工降雨や流砂）、社会実験など様々な実験が行われてきました。これら実験は、土砂移動現象の解明・可視化、対策施設の配置計画の立案、数値計算手法の検証、避難訓練等による防災・減災行動の検証など、多くの課題の解決に寄与してきていると考えられます。近年においても、天然ダムの決壊機構の解明と対策手法の検討など、十分に解明されていない現象の解明や従来あまり対象とされてこなかった現象に対する対策手法を検討する際に、今なお広く活用され、砂防・治山分野において、実験は過去から現在まで、重要な役割を果たしてきていると考えられます。

そこで、今回の特集では、「砂防・治山分野における実験」に関する原稿を幅広く募集したいと考えます。本

特集では、水理模型実験、現地実験、社会実験など、様々な実験を対象とします。

- 募集原稿の種別：論文，研究ノート，報文，技術ノート，総説
- 原稿投稿締切：2014年7月31日(木)
- 原稿様式：砂防学会誌「投稿規定」および「執筆要領」による（注：原稿投稿時に砂防学会誌または砂防学会ホームページ（<http://www.jsece.or.jp/>）にて最新の「投稿規定」および「執筆要領」をご確認下さい。）
- 投稿方法：通常の砂防学会誌原稿の投稿方法に準じますが、投稿票の「⑪その他」の欄に「特集：砂防・治山における実験」と記載して下さい。
- 掲載予定号：砂防学会誌第67巻6号（2015年3月発刊予定）
- その他：通常原稿と同様に査読を行います。発刊予定号の入稿期限までに編集委員会において原稿が掲載可とならない場合には、特集号発刊後の別号に掲載させていただきます。